

北辰

TOKYO



岐阜県立多治見北高等学校同窓会
東京支部会報 第33号
2019年9月28日

東京支部設立 30 周年総会へどうぞ！

多治見北高等学校同窓会東京支部 会長 羅本 礼二 (15 回生)

私共東京支部は昨年 11 月 17 日 (土)、第 29 回東京支部総会・懇親会を女子栄養大学・駒込キャンパスにて開催しました。

来賓として、本部から伊藤恒一会長、五島達明副会長、関西支部から平木えりこ副会長、母校から小栗英幸校長、恩師の松田嘉久先生、石王明先生、多治見市から古川雅典市長、加藤泰治秘書広報課長、伊藤正人秘書、東濃会から青山信昭中津高校会長らをお迎えしました。

総会では、第 28 期事業報告及び決算報告、監査報告、第 29 期事業計画及び予算案について審議・了承されました。総会に引き続いて、古川雅典多治見市長より、多治見市の元気な近況についてのお話をお伺いしました。

フォーラムでは「人生の意志決定は何故難しいのか～セカンドライフに向けて～」というテーマのもと、この分野の専門家である加藤茂博氏【19 回生・㈱リクルートキャリア 事業開発室 ビジネスプロデューサー】に、日頃の悩みのヒントになる講演をお伺いしました。

総参加者は 1 回生から 57 回生まで幅広い年齢層から約 90 名におよび、懇親会では校歌斉唱をはさみ、なご

やかな歓談に花が咲きました。女子栄養大学直営レストラン 松柏軒から提供される料理も、毎回のことではありますが今年も好評でした。

本年は表参道の青山学院大学 IVY ホール

で 11 月 23 日 (土) に開催を予定しています。今年の幹事は下一桁に 0 のつく回生になります。私たち東京同窓会 (多治見北高同窓会東京支部) は 1990 年に設立されており、同年 11 月 23 日に新宿区の主婦会館で東京支部設立総会・懇親パーティが約 160 名の参加者で開催されています。数えて本年は 30 回目の記念総会となります。1990 年 11 月 23 日発行の東京支部会報創刊第 1 号では発起人代表でもある鈴木満初代会長 (1 回生) の「設立趣旨について」が掲載されていますが、今回あらためて鈴木満初代会長に東京支部設立のきっかけと、経緯について寄稿をお願いし、本誌に掲載させて頂きました。

同期会は同じ年に北高に通った者同士の横のつながりを保ちますが、世代を超えての同窓会は先輩や後輩と縦にもつながり、縦糸と横糸がつながることによって、大きな布 (面) を造りだします。その大きな布も毎年積み重なり今年で 30 枚となります。どうぞ皆さま、高校時代の若い心で東京支部同窓会に参加して、心のよりどころとしての広がりにも包まれてください。来る 11 月 23 日、校歌にもでてくる「青山」でお会いしましょう。



昨年の総会の様子

東京支部だより

第29回総会・懇親会

昨年11月18日(土)、第29回東京支部総会・懇親会を「女子栄養大学駒込キャンパス」において開催いたしました。総会では、昨年度の活動報告・収支報告および今年度の活動計画・予算を説明し承認されました。

その後、多治見市長による市政状況の紹介のあと、恒例のフォーラムでは株式会社リクルートキャリア事業開発室の加藤茂博氏(19回生)に「ライフイベント：人生の意思決定は何故難しいのか～セカンドライフに向けて～」と題して「転職・結婚はいつ・どんな理由でするのか? 将来の人生プランはどうするのか? 会場の若い世代に問いかけたところ、老後にまで不安がある。という話もあり、手取り早くは経験者に聞け! ということで、会場にいらっしゃる諸先輩にアドバイスの話をしていただいたり、就職斡旋会社? の情報を織り交ぜながら、周りを巻き込んでの楽し

いフォーラムとなり、予定時間もあっという間に過ぎてしまいました。

当日の来賓は小栗英幸校長(20回生)、恩師の石王明先生(4回生)、松田嘉久先生、本部同窓会から伊藤恒一会長(12回生)、五島達明副会長(12回生)、関西支部から平木えり子副会長(18回生)、そして古川雅典多治見市長(11回生)の方々でした。今年も東濃地区の高校同窓会東京支部の代表の方々もお呼びし、中津高校関東OB会から青山伸昭会長が来賓として参加されました。

懇親会は、羅本会長の挨拶、鈴木満初代会長の乾杯の発声でスタートし、和気あいあいの懇談のなか、校歌合唱、来年への幹事引継ぎ、最後に山本康夫元会長(7回生)の締めの挨拶で無事終了することができました。



懇親会の様子



翌年の幹事への引継ぎ式

第29回総会のフォーラムでのアンケートまとめ報告

2018年11月17日(土)多治見北高同窓会東京支部総会のフォーラムでは19回生の加藤茂博氏に「人生の意思決定は何故難しいのか～セカンドライフに向けて～」と題し講演していただきました。

その際同窓生の皆様に行いましたアンケートの内容の一部をご紹介します。(公開の許可を得た方のメッセージのみ掲載しております)

<人生の後輩のために伝えたいこと>

◎60代の皆さんへ

- ・エビデンスを理解した上で筋肉量維持と脳の活性化を。複数の趣味(一人でできる趣味や複数の人と共有する趣味)をもつと生活が充実すると思います。
- ・毎日運動を欠かさないこと。当方毎日2時間散歩しています。
- ・人間関係を駆使して将来に対する相談を通してコミュニケーションを取り合うことが重要。

◎50代の皆さんへ

- ・将来の姿が見えてきたこの時期に現実可能なファイナンシャルプランを立てておく。
- ・どれが得(利益)かではなく何が正しいかを考えて行動すること。過去を振り返って後悔してもプラスにはならない。先を見よ。



加藤茂博氏によるフォーラムの様子

◎40代以下の皆さんへ

- ・自分が何者なのかをしっかりと意識して、見つけて、自分の生き方を考える。毎日毎日を大事に生きる。
- ・自分の人生は一度きり。生きていく中でいろいろなことが起きる。それは自分の人生の一部であり、受け取り方によって自分が変われる。一つ一つをきちんと受け止めてよりよく生きる。そしてリフレッシュすること。
- ・縁によって人生が変わります。人との出会いを大切にしてください。
- ・将来のことを身近に感じる事が出来ないこの時期のライフプランが最も重要だと思います。是非ライフプランを作ってください。
- ・少子高齢化社会で最も苦勞する世代。それでも生き抜く“力”を養ってほしい。自分の成長と後世代の成長をされるべし。
- ・成果は粘りの先にあると理解して何事へも取り組もう。

◎全ての世代の皆さんへ

- ・多くの努力は必要だが、転期での「運」が最も重要。
- ・還暦目前だが起きたことの多くは不可逆的で思い描いたように進行はしていない。予知不能の状況下で概して「やった」ことに悔いは少なく、「避けた」ことに悔いが多い。
- ・利他精神で社会貢献して頂きたい。良かれと思って相手のことを考えて仕事にも社会生活にも向き合っていけば、最終的には自分に返って来ることが実際に多いです。
- ・自己肯定感を高める様な生き方を探求して相手もハッピーそして自分もハッピーということで毎日が充実すると思います。

他にも講演に関しましては「人生は出会いと決断の積み重ねであるとの言葉に感銘を受けた」「自身の生き方を立ち止まって考えるよい機会となった」など多くのご意見やご感想をお寄せいただきました。また次の機会にご紹介できたらと考えております。

今年多治見北高同窓会東京支部総会は30回目を迎えます。記念すべき会を盛り上げようと、0のつく回生の幹事さんが準備して下さっております。新しい出会いを作りにぜひお越しください。

(第29回東京支部総会幹事)

若者たち

多治見北高等学校 校長 小栗 英幸 (20 回生)

今年の入学式の式辞で「若者たち」を引用した。「君のゆく道は 果てしなく遠い …」である。大変昔の曲ではあったが、ドラマがリメイクされ、この曲も再度リリースされていたことから引用したのだが、いつの時代にも通じる不朽の作品だと思う。今年のビッグニュースの一つに、20歳のプロゴルファー渋野日向子さんの全英女子オープン優勝が挙げられる。昨年、プロテニスプレーヤー大坂なおみさんが20歳で全米女子オープンに優勝し、その後21歳で全豪女子オープンにも優勝して、女子テニスのランキング第1位を獲得した出来事に引き続き快挙である。そしていよいよ来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックでは、国や性別に関わらず多くの選手たち、スタッフたちの活躍が期待される。

自らを振り返れば高校生の頃、40、50歳代の大人は「果てしなく遠い」世界の住民に見えていたのに、いざ自分が到達してみると、幾度かは「歯を喰いしばった」時期もあり懸命に乗り越えた山も川もあったが、それ程高みに上っている気がしないのは何故だろう。吉田拓郎が歌ったように「大人よりたくさん時間をもって」と思っていたのに、それだけの時間を費やした気がしないのはどうしてだろう。目標とした到達点とは異なり、まだまだこれからだ、と思っているからなのか。はたまたあの頃は気がつかなかったこと、腑に落ちなかったことに対して、その多くが失敗や挫折といった経験や学びがゆえに、いつの間にか理解できた、腹に落ちたからなのか。不惑も自立も過ぎているが、自分自身がまだまだ発展途上の毎日を送っている。

さて本校では、昨年度、土岐市立泉中学校との間で始めた学習ボランティア（夏休みに中学校へ行き中学生の学習の手助けをするボランティア）を、今年度は多治見市立陶都中、多治見中、土岐市立泉中、瑞浪市立瑞浪北中へと拡大した。4つの中学校へ合わせて80名が1日～6日間参加した。各中学校の卒業生を中心に参加して後輩たちのサポートをすることで、自己有用感を高めること、幅も奥行きもある若者へと成長することを願う。また、夏休みの2週間、「日本の次世代リーダー養成塾」へ2年生の女子生徒と1年生男子生徒が各1名ずつ参加してきた。全国及びアジア各国の高校生約190名との交流を通じてリーダーとして多く

のことを学び、若者として大きな刺激を受けて来た。そしてまた、名大MIRAI G S C（グローバルサイエンスキャンパス、4年間の文部科学省指定事業の4年目）において、第1、第2ステージをクリアし、第3ステージでの大学研修に2年



生の男子生徒1名が選ばれた。名大で今後半年間、8日間にわたる研究を経て、来年3月に8日間、ドイツの大学での研修プログラムが組まれている。本校では2年前に2年生女子生徒が選ばれて以来、2年ぶり2人目である。「若者たち」は3番が秀逸だ。「君のゆく道は 希望へと続く …」。彼ら、彼女たちの可能性は無限に広がる。

末筆ではあるが、お願い事を一つ。創立60周年を記念した同窓会名簿が間もなく発行される。個人情報管理が厳しいこの時勢の中、名簿の作成に携わられた役員並びに関係者の皆様のご尽力に対して心より感謝するとともに、多くの会員の皆様からのご協力がいただけたことに、私からもお礼を申し上げる。19,000名を超える卒業生が本校で培った力を発揮して、岐阜県をはじめ日本そして世界各地で活躍されていることは、すでにご了知のことではあるが、出来上がった名簿からもそのことが推し量られる。今後は名簿を元に、会員相互の一層の交流及び親睦が図られること、また、皆様方及び後輩たちが進んでゆく際の好機となるように活用されることを期待する。そして、一人でも多くの同窓生から同窓会へ、北高生へ、是非とも激励をいただくようお願いする。皆様方の足跡にふれること、同窓の先輩方のお考えを知ることが、後輩たちの、これからの北高の更なる発展につながっていくものと考えます。本校の創立70周年、80周年そして100周年へ向けて、同窓会のお力を、同窓生の皆様のお力を是非ともお貸しいただきたい。

共につくる。まるごと元気！ 多治見

—多治見市政報告—

多治見市長 古川 雅典（11 回生）

多治見北高等学校同窓生の皆さん、こんにちは。多治見市長の古川雅典です。日ごろは多治見市のことを気にかけ、関東の地から温かいエールを送っていただいております。心より御礼申し上げます。

さて、私から多治見市の近況を3つご報告いたします。

①第7次総合計画後期計画を策定

多治見市では現在、政策の骨格となる「第7次総合計画後期計画」を策定中です。計画のキーワードは「共につくる。まるごと元気！多治見」。計画の策定から実行までを市民、NPO、ボランティア団体、企業、行政など多様な主体が協働し、みんなで“共に”元気なまちを作り上げることを基本方針としました。この方針のもと、「持続可能な開発目標（SDGs）」や「Society5.0」といった時代の潮流を踏まえた計画を、令和元年12月末までに策定します。

②多治見駅南地区市街地再開発事業の工事がスタート

多治見駅南地区市街地再開発組合と株式会社奥村組が、特定業務代行に関する基本協定を7月18日に締結しました。多治見駅前プラザテラは6月末、駅西駐車場は7月末に営業を終え、いよいよ解体工事が8月から始まりました。この事業により、新たに29階建ての住居棟、14階建てのホテル棟、3階建ての商業・業務棟、5階建ての駐車場棟が多治見駅南地区に建設される予定です。完成予定は2022年秋頃。新たに生まれ変わる美濃焼の玄関口にご期待ください。

③幼稚園、保育園、小・中学校へのエアコン設置が完了

多治見市では教育環境岐阜県ナンバーワンを目指し、優先事業として教員の増強や脳活・体トレの取り組み、

建物の耐震化などを行いました。その結果、学力・体力ともに全国、岐阜県平均を上回るとともに、安心安全に学べる環境を実現しました。さらに、平成30年夏の災害級の暑さを受けて、幼保小中へのエアコンの設置計画を大幅に前倒しました。今年の3月までに保育園、6月までに幼稚園と小学校、夏休み明けまでに中学校と、全国でも類を見ないほどのスピードでエアコンの設置が完了しました。これからも教育環境のさらなる向上を推し進めます。

多治見市は来年、市制80周年という記念の年を迎えます。市制80周年に向けた機運を高めるため、記念シンボルマークを笠原町出身で「半分、青い。」のタイトルロゴを制作されたデザイナー、谷口佐智子さんに制作していただきました。多治見市の美しさを表現するこのシンボルマークのもと、市制80周年を記念する様々な事業を開催する予定です。ぜひこの機会に、皆様のふるさと多治見市へ足を運んでください。皆様の帰郷をお待ちしています。



TAJIMI 80TH
多治見市制80周年

多治見市制80周年
記念シンボルマーク

《コンセプト》

橋から眺める土岐川、その背景にある緑深い山、広がる青空をイメージし、「0」の部分は、多治見市の象徴である美濃焼をイメージし、陶磁器の破片やモザイクタイルで表現している。



恐れ入りますが記念シンボルマークの他の目的での使用はご遠慮ください。もし使用希望がございましたら、多治見市秘書広報課までご相談ください（ただし、現在民間利用についてはルールの策定中であり、使用許可は令和2年度以降となる見通しです）

昨年総会で多治見市政報告を行う古川市長

東京同窓会の立上げ・秘話

鈴木 満 (1回生・桐蔭横浜大学法科大学院客員教授・弁護士)

多治見北高同窓会東京支部(以下「東京同窓会」という)がこのたび「創立30年」を迎えるという。東京同窓会を立ち上げた一人として感慨ひとしおである。このたび羅本会長から「記念号に同窓会設立の経緯を寄稿してほしい」との依頼を受け、早速、パソコンに向かった。

東京同窓会立上げの経緯は、既に本会報で紹介したことがあるが、改めて紹介することにする。

今から約30年前、当時私が勤務していた東京霞が関の公正取引委員会に、中曽根康弘の秘書だという男性が訪ねてきた。中曽根康弘と言えば総理大臣を務めた大政治家である。その秘書が一介の中間管理職である私を訪ねてくるとは「何ごとか?」と身構えた。その秘書は、私に「あなたに面会したいという人を連れてきた」と言い、足早に立ち去った。残った男性が「恩師の大角先生だ」ということは一目で分かった。大角先生の依頼は「北高が創設されてから30年になる。東京に北高同窓会支部を設立してもらえないか」という内容であった。「この程度の話」に国会議員の秘書を担ぎ出すとは「なんと大げさな」と思ったが、多分、先生は「国の職員に面会するには国会議員の紹介が要る」とお考えになったのかもしれない(その必要は全くないが・・)。私は「この程度の話」をするのに手弁当で東京まで出掛けてくる大角先生の「熱意」に敬服し、こ

の依頼を引き受ける決意を固めた。

実は、東京同窓会立上げのきっかけを作ったもう一人の人物を忘れることはできない。その人物とは8回生の「可児くん」。彼の姉君は、可児市・中部中学校の同級生で私の「憧れのひと」でもあったから、彼とは以前から親しくしていた。あるとき彼が「鈴木先輩、東京で北高同窓会を立ち上げてくれませんか」と持ち掛けてきた。私はその任にあるのか疑問に思ったが、「私は1回生だし、頂戴している給与は元をただせば皆さんが納めた税金でもある。何等かのお返しをしなくては」と思い返し、及ばずながら東京同窓会立上げに尽力する決意を固めた。

なお、付言すれば、大角先生・可児くんとも、もうこの世には居ない。

天国に居るお二人に対し、「あなた達の”熱意”で設立された東京同窓会が今年30回記念大会を迎えるよ。これからもきっと後輩たちが永遠に続けて行ってくれると思う」と声高に伝えたい。



平成31年度(平成31年10月～32年9月)年会費納入のお願い

今年も11月23日(土)にIVY HALLにおいて年度幹事(30回生)の皆さんのご尽力により、懇親会を開催いたします。当日は、懇親会費(6,000円)とともに年会費(2,000円)を徴収させていただきますので、よろしくお願いたします。

当日やむをえず出席いただけない場合には、同封の郵便振替用紙をご使用のうえ、年会費をご送金くださいますようお願い申し上げます。(氏名と卒業年または、卒業回生の記入をお忘れなく。)

なお、すでに複数年ご入金済の会員のみなさまには振込用紙を同封しておりませんのでご承知おきください。

年会費 一般 2,000円 学生 0円

送金手数料の扱いは、郵便振替の場合支部負担、銀行振込は会員負担でお願いいたします。

多治見北高同窓会東京支部事務局庶務担当
鈴木清二(13)

ヤギの里計画推進中 — 5年目の田舎暮らし —

原田 英明 (12回生・恵那市岩村町在住)

皆様、ご無沙汰しています。私、2015年7月に故郷へ移住して以来、早いもので5年目に入っています。その当時私は東京支部会長として二期目の任期の途中で、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、その後の羅本会長を先頭とする貴会のますますご発展の様子を拝見し、私も大いに勇気づけられています。おかげさまで今ではすっかり田舎暮らしに馴染んでいます。

昨年の5月に本格的にヤギを飼い始めまして、近くの高齢者施設でアルバイトをしながらヤギの世話をするという穏やかな日々を過ごさせていただいています。当初は除草を目的にレンタルでメス2頭、オス1頭を飼い、メス2頭が妊娠した段階でオスは返却し妊娠したメス2頭を購入しました。そのメスたちから今年の1月末に子ヤギが3頭生まれ、現在5頭になっています。

ヤギの除草能力もなかなかですが、ヤギは人ととてもフレンドリーで、大きな癒し効果も期待できます。子ヤギが生まれて数か月の間に200人以上の見学者が訪れ、ヤギたちと触れ合いました。5月に開催したコスプレイベント「アルプスの少女ハイジ」ごっこには、大人子ども合わせて30人近くが集まり大いに盛り上がりました。

父親が大きな種だった子ヤギの成長はとても早く、今では小さな種の母親よりも大きくなっています。しかし、成長の過程ではどの子も病気やケガなど様々なトラブルに見舞われました。殊に毒草には注意が必要で、馬酔木を食べて瀕死の状態になり、もうだめかというような事態にも直面しました。その度に家畜診療所の獣医師のお世話になり、皆元気に育っています。

緑豊かな山里の景観にヤギはとても良く似合います。私は個人的に「東美濃山羊の里計画」と銘打って、この地域にヤギネットワークを作ろうと考えています。情報交換やへ



緑がいっぱいの山里にヤギがいる景観が大好きです (9月13日撮影)



生まれて間もない子ヤギを見に訪れた親子連れの人たち (2月2日)



コスプレイベント「アルプスの少女ハイジ」ごっこ開催 (5月12日)

ルパーシステム作りを通してヤギを飼うことへのハードルを下げ、ヤギを飼う人を近隣で増やし、この地域に訪れる人たちが「なんだかあちこちにヤギが居るね」と驚くような景観を作りたいと思うのです。私は岩村町ですが、すでに岩村でも数軒、恵那市内や中津川市、瑞浪市などでヤギ仲間が増えつつあります。他県からわが家にヤギハウス拡張の支援などに駆けつけてくれる応援団もあります。どうぞ皆様、私の野望にご声援ください。



ヤギの里応援団の皆さんと (8月11日)

第30回 多治見北高同窓会東京支部総会・懇親会のご案内

会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より支部運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、今年の東京支部同窓会は、渋谷にあります「IVY HALL」で実施いたします。

総会・懇親会は、「異業種・異世代交流の場」として、どうぞ積極的に活用してください。

ご多用中のことと存じますがお知り合いの同窓生もお誘い合わせのうえ、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

多治見北高同窓会東京支部総会実行委員会（下一桁0の回生）

記

日時：令和元年11月23日（土曜日）午後2時～6時00分（1時30分開場）

会場：「IVY HALL」

所在地：渋谷区渋谷 4-4-25

電話：03（3409）8181

総会・フォーラム（3F）ナルド

懇親会（2F）ミルトス

- ・懇親会費：一般 6,000 円
平成 20 年以降卒業生
（46 回生以降）3,000 円
学生 1,000 円
- ・年会費：一般 2,000 円、学生 0 円

出欠のお返事は、11月8日までに届きますようお願いいたします。

【フォーラムタイトル】

・傍流の記者論～ニッチなテーマ

「見た目問題」を僕が追い続ける理由

【フォーラム講師のプロフィール】

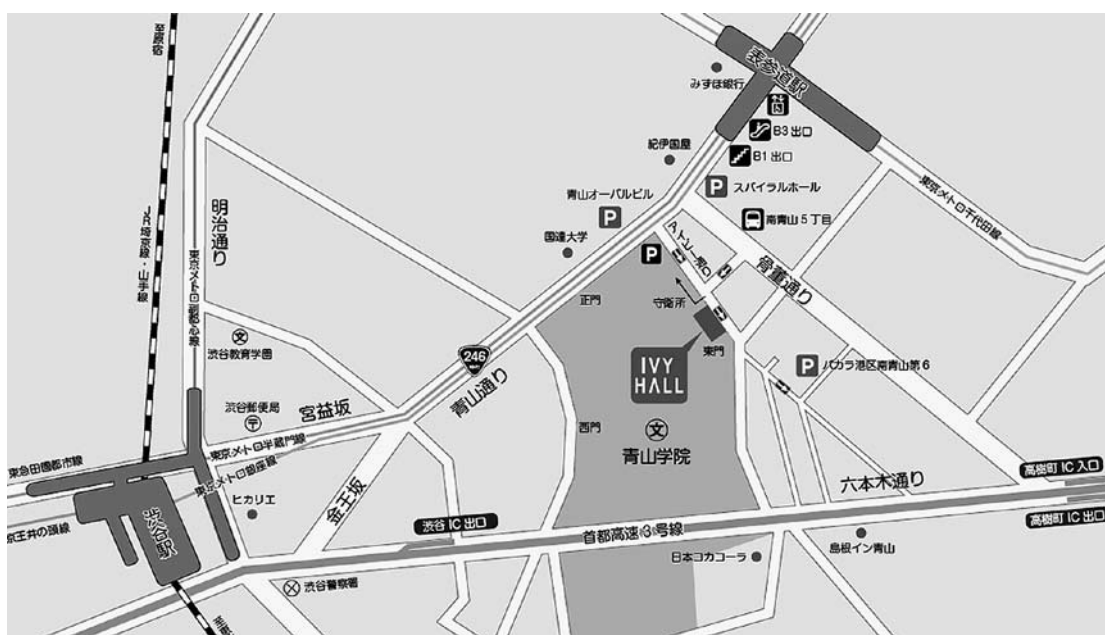
岩井建樹（いわい・たてき）（朝日新聞文化くらし報道部記者）

1999 年多治見北高校卒業（39 回生）

関西学院大学総合政策学部、名古屋大学大学院環境学研究科を経て、2005 年に朝日新聞社入社。岡山、京都、環境省担当、岩手（被災地取材）、紙面編集などを経て現職。スマホ世代に向けたニュースサイト「withnews」において、外見に症状がある人たちの人生を追う「見た目問題 どう向き合う？」を連載中。

長男が生まれつき右顔の筋肉がなく、笑顔の表情をうまくつけない当事者。今夏には著書「この顔を生きるということ」を出版。

会場へのアクセス



ホームページ公開のお知らせ

同窓会東京支部としてホームページを公開していますので同窓会の最新の情報を、ホームページから取得してください。

また、会員の皆様が転居されたときや、同窓会事務局にご要望などがあるときは、ホームページの投稿欄に記入してください。

<ホームページアドレス> [https:// 北辰.jp/tokyo](https://北辰.jp/tokyo) 同窓会東京支部事務局 鈴木清二（13 回生）